



令和7年度 高雄日本人学校

愛河

校訓 「高雄の子ども」 たくましい子 考える子 思いやりのある子



学校だより 5月号

令和7年4月30日

文責 校長 堀山 知基

新年度の学習がスタートしています

令和7年度がスタートして、2週間が過ぎました。各学年では、教科の学習が本格的に始まっています。小学部1年生では、学習の進め方や姿勢、鉛筆の持ち方、学校のきまりなどを確かめながら、学習に取り組んでいます。また、中学部1年生では、小学校卒業までに身に付けてきた学習規律を生かしながら、教科担任制となった各教科の学習に熱心に取り組む姿が見られます。もちろん、他の学年の子供たちも同じく、新しい学年の学習内容に興味をもち、集中して学習しています。これらの姿を、今週末の授業参観で保護者の皆様にもご覧いただけますと幸いです。

日本では、「五月病」という言葉がありますが、新年度のスタートを迎え高揚感をもって活動に取り組んできた子供たちにも、少々疲れが見えてくるのがこの時期でもあります。家庭で子供たちがゆっくりと体を休め、次の日への活力を漲らせることができるよう、保護者の皆様の見守り・ご支援を引き続きよろしくお願いいたします。



小学部1年生



中学部1年生

避難訓練を実施しました

先週23日(水)、今年度最初の避難訓練を実施しました。今回は、理科室からの出火を想定し、火災時における避難行動を確認しました。子供たちは担任の指示の下、落ち着いて迅速に避難行動を完了することができました。

避難後の全体指導の場で、校長から「非常時には、自分の命を自ら落としてしまう行動に繋がる『パニック行動』が見られることがあります。訓練でできないことは、非常時には絶対にできません。だからこそ、日頃からの訓練が大事なのです。」と話をしました。私たちが住む台湾は台風や地震などの自然災害も多い地域です。万が一の際、「家族でどのような行動を取るか」、「家族が離れ離れにいる状況では、どのように避難するか」などを確認しておくことも、お互いの尊い命を守ることに繋がります。ぜひ、ご家庭でも話題にされてみてください。

今回は、5月19日(月)に不審者侵入時を想定した避難訓練を実施します。これに伴い、保護者の方へお子様を直接お引き渡しをする訓練も行いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

